

第15回ブロック勉強会

活用しよう薬剤師会〈会員へのメリット〉

会員は「薬局単位」から「個人単位」へ

つながりが増える！

① 薬剤師になったものの、日常業務の忙しさの中で、進むべき道に迷うことはありませんか？
薬剤師会を活用すれば、気軽に話し合える**仲間が増えます**。
さらに薬剤師以外の他職種と交流する機会も増え、人生経験の幅が広がります。

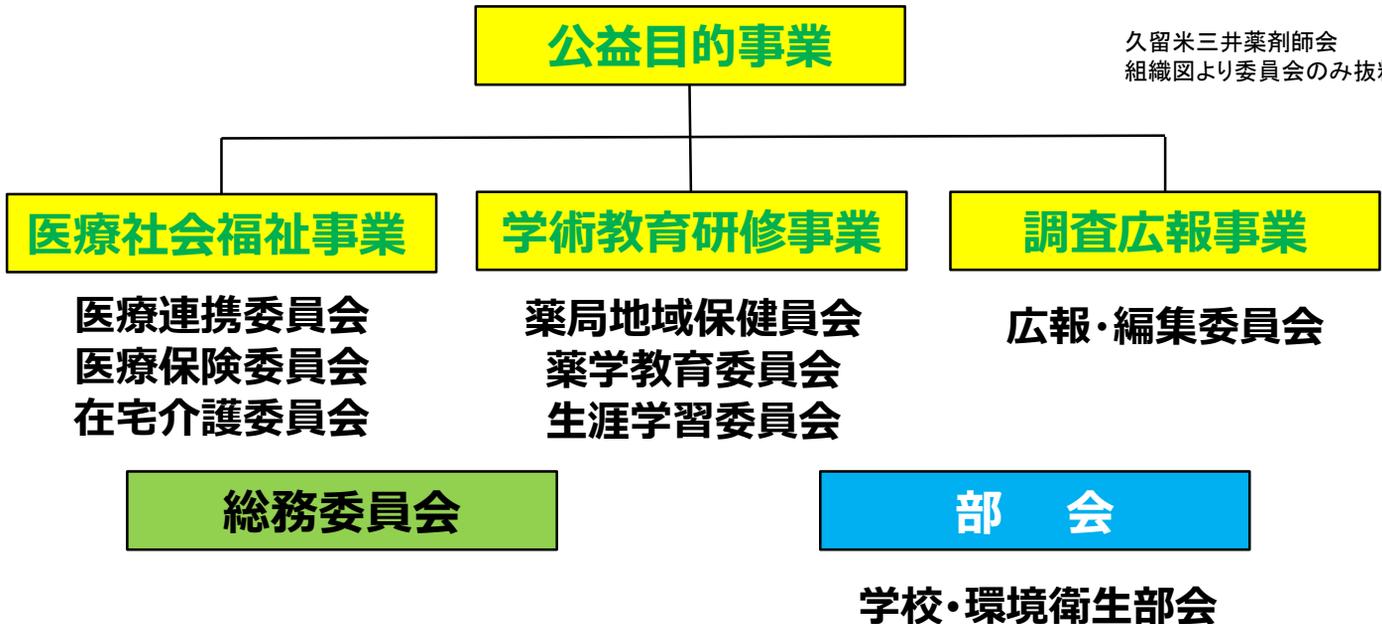
② 組織力が活用できる！

個人では難しい事でも、薬剤師会の組織力を活用すれば、実現できる事があります。
地域貢献を考えた「健康フェスタ」や「こども調剤」、「市民公開講座」の企画に加え、「パス」や「退院時カンファ」を通じた病診薬連携、「ケア会議」「学校薬剤師」などの地域連携など、
薬剤師としての**やりがいを感じる**ことができます。

③ 学習の場が広がる！

薬剤師会には様々な方面に長けたスペシャリストがたくさんいます。
個人で学習するよりも仲間と情報共有することでレベルアップに繋がります。
皆で「**存在価値のある薬剤師**」になりませんか？

久留米三井薬剤師会
組織図より委員会のみ抜粋



各委員会がどんな事業を行い、どんな事業に参加しているのか。
担当の理事者・委員より、1ブロック4班を回り各自6分弱という時間の中で、
担当の委員会について熱く説明を行いました。その内容やご質問いただいた
内容をとりまとめました。

医療連携委員会（山口担当常務理事）



広域病院・調剤薬局との薬薬連携、医療安全に関する情報を共有し発信する委員会です。

【委員会活動内容】

- 広域病院、調剤薬局の薬薬連携
- プレアボイド、ヒヤリハット事業
- お薬手帳の活用による連携
- 病院Drと連携しスキルアップ勉強会

【ご意見要望】

- ◆ 広域病院一覧表に、他の病院の情報を入れて欲しい(嶋田病院など): 検討します。
- ◆ 久留米総合病院のPLのGEは手に入らないのでなんとかして欲しい: 検討します。
- ◆ 糖尿病のスキルアップ勉強会への参加の件
(時間が間に合わない。基礎編に参加してないが応用編だけでもいいか？
単位は取れるのか？糖尿病専門薬剤師と違うか？など)
- ◆ 今後のスキルアップ勉強会の予定: 未定だが要望があれば企画していきたい。

在宅介護委員会（吉永担当常務理事）



当委員会は在宅医療だけでなく、予防→支援→介護→緩和・在宅、どの段階の患者さんにでもお役に立てる薬局づくりをお手伝いします。

【委員会活動内容】

《予防介護事業》

認知症サポーター養成講座の開催、認知症サポーター養成キャラバンメイトの資格取得、介護予防サポーター養成講座へ講師派遣、地域の高齢者コミュニティーへの講師派遣など

《行政との仕事》

介護認定審査会 審査員派遣

自立支援地域包括ケア会議 アドバイザー派遣、アドバイザー養成のための研修会開催
次年度もケア会議アドバイザーは募集するので、希望する人は研修会に参加してください

《医療・介護との連携》

久留米医大・聖マリアの地域連携室との面談。退院時カンファへの参加依頼、脳卒中パス薬局までの連携システム作り

多職種との連携 「多職種リーダー研修会」参加(医師会・久留米市主催)「ケアマネ意見交換会・ケア会議アドバイザー意見交換会」参加(久留米市・地域包括主催)

【ご意見・要望・質問】

- ◆ 委員会活動はわかったが、『委員になっていっしょに活動を・・・』と言われても、具体的にどんな仕事を して事業をこなしているのか分からない。
- ◆ 他地区の薬剤師会の活動を知らないのが当たり前なのか、凄いのか分からない。
- ◆ いつも同じ人が出てくるので、その人たちだけが頑張っていると思っていた。

医療保険委員会（石川担当常務理事）



「ブロック勉強会」「調剤報酬に関する伝達講習会」等を開催している委員会です。

【委員会活動内容】

- 調剤報酬の疑義を解決する「調剤報酬算定に関する質問書」
- 保険薬局としての在り方を考える
- VPCSの使用するにあたっての利点、使用方法の説明
- 「おくすり整理相談バッグ」について使用促進の依頼

【ご意見・要望・質問】

- ◆VPCSの分譲備蓄の欄での古い依頼品がいつまでも残っているので、ある程度たつと自動で消えるようにしてほしい：佐賀電算センターへ依頼予定
- ◆相談バッグの在庫数量及び金額：1枚20円 残数2,200枚（平成28年11月21日現在）

学術教育研修事業

薬局・地域保健護委員会（杉本担当副会長）



かかりつけ薬局、健康サポート薬局、一般用医薬品販売に関するスキルアップなど、薬剤師スキル向上のための研修会を企画実行しています。

【委員会活動内容】

- メインに今まで行ってきた研修内容や今後の研修会開催予定の内容の説明
- 今後地域に根差した薬局薬剤師になるための取り掛かりの一つとして、スポーツファーマシスト、ゲートキーパーの説明
- 要指導医薬品、第一類医薬品販売に際しての確認書、販売者カードの必要性、またこれらの書類はホームページ上よりダウンロードできることの説明
- 薬局にそろえておくべき指針、業務手順書の更新は必ず行うことも併せて説明

【ご意見・要望・質問】

- ◆スポーツファーマシストの仕事内容の質問
：あくまでもお薬に関する内容
：うっかりドーピングとまらないための相談窓口であることなどを説明
- ◆薬局に必要な書類等を日薬や県薬のホームページでどこにあるのか探すのが大変
：出来ればリンクではなく市薬のホームページに張り付けてほしいとの要望あり、
：広報編集委員会と相談し検討する
- ◆健康サポート薬局の業務指針等のたたき台の作成依頼
：まだ日薬から出ていないため、検討事項として委員会の議題とする

薬学教育委員会（園田担当常務理事）



薬学実務実習生や認定実務実習指導薬剤師のサポートを行う委員会です。

【委員会活動内容】

- 認定実務実習指導薬剤師になるための要件
- 実習内容の紹介
- 指導薬剤師のサポート(スキルアップ勉強会の企画、開催)

6年生の薬学実習を受け持つことは決して薬局の業務負担が増えるだけのものではないこと共に学ぶことで指導薬剤師や薬局全体のレベルアップが見込める点で大きなメリットがあること実習期間中は指導薬剤師間の連携、委員会のサポートがあり、安心して受入ができること

【ご意見・要望・質問】

- ◆現在の受入薬局の数:30薬局(平成28年11月21日現在)
- ◆毎年の新規受入薬局募集数(ワークショップの枠について):近年は年間2薬局の枠

生涯学習委員会（杉岡担当理事）



薬剤師としてレベルアップできる研修会等を企画し実行する委員会です。

【委員会活動内容】

- 価値ある研修会を企画→参加してレベルアップ
develop seminarの2017年1月以降の参加費の伝達
- COMをサポート→参加してレベルアップ
COMの周知と今後の展望(参加募集)
- 市民公開講座を企画→参加して地域貢献

【ご意見・要望・質問】

- ◆小郡地区の薬局に勤める人は、久留米に住んでない人が多く、薬局が終了する時間との兼ね合いから、久留米地区の研修会に出席する事が難しいので、小郡地区での研修会をもっと企画してほしい:検討します

調査広報事業

広報・編集委員会（今村担当常務理事）



市民への広報活動(健康フェア)やHPを運営し会員への情報公開等を行う委員会です。

【委員会活動内容】

- ホームページのコンテンツ紹介→活用方法のアドバイス
(COM Summary、こども薬局in久留米特設ページ、ヒヤリハット・プレアポイド報告、ブログ、求職相談申込フォーム、ソフトボール、会員薬局一覧、研修会一覧などを中心に)
- 会報発行について
- おくすり健康フェアinくるめ・2017開催決定のお知らせ
会員の方の参加を募ることになる可能性があるため、協力依頼

【ご意見・要望・質問】

- ◆ホームページ会員向け閲覧のためのパスワードについて
:事務局へお問い合わせされるよう説明

総務委員会

総務委員会（白木担当副会長）



会員の管理、会員の福利厚生、当会の会計を担う委員会です。

【委員会活動内容】

- ソフトボールチームの最近の戦績。
- ソフトボールメンバー募集のお知らせ。

【ご意見・要望・質問】

◆ブロック・班別の会員薬局組織図において、新規入会薬局がわかりやすいように該当薬局を一定の期間色分けするなどの対応を行って欲しい、との要望あり：今後検討

部 会

学校・環境衛生部会（中井担当理事）



学校薬剤師として環境衛生検査を行い、生徒・児童の健康を見守る部会です。

【部会活動内容】

- 久留米市学校薬剤師会試験室について説明
- 学校薬剤師の活動についての説明
- 環境衛生検査の説明
 - ・飲料水、プールの水質検査
 - ・残存物の検査
 - ・照度検査
 - ・給食細菌検査
 - ・ダニ・ホルムアルデヒド検査
- 「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止活動について
- 学校薬剤師になるには

【ご意見・要望・質問】

特にありませんでした

以上、5委員会・1部会の委員会説明及びご質問いただいた内容となります。

ブロック	開催日	開催場所	参加人数
Aブロック	10月24日(月)	えーるピア久留米	40薬局47名
Bブロック	11月 2日(水)	えーるピア久留米	36薬局43名
Cブロック	11月10日(木)	えーるピア久留米	37薬局55名
Dブロック	11月 1日(火)	小郡市生涯学習センター	32薬局36名

各委員会を説明した理事者・委員より

ブロック勉強会では、例年一つのテーマを決めSGD形式で行ってきましたが、今年も、薬剤師会を活用していただくためには、まず「各委員会がどんな事業を行い、どんな事業に参加しているのか。」を知っていただく事から！と班長会議にて決定し、担当の理事者・委員より、1ブロック4班を回り各自6分弱という時間の中で、担当の委員会についてご説明をさせていただきました。

初めての試みでまた、短い時間で各説明者うまくお伝えできたかな？ 一方的な説明となってしまった。質問を受け付ける時間までなかった等反省する点はありませんでしたが、

医療社会福祉事業

医療連携委員会（山口常務）

広域病院一覧表への意見を聞く事ができた。お薬手帳シールのダウンロードができることを知らない人が多く、活用方法を伝えることができた。糖尿病スキルアップ勉強会の開催時間などの参考意見が聞けたので今後の講演会企画に役立てたい。ホームページでプレアボイド、ヒヤリハット報告ができることを会員に知っていただけた。その後、報告数が増えてきている。

在宅介護委員会（吉永常務）

行政や公的な会議で薬剤師の能力を発揮し、社会的地位の獲得、地域の信頼を得ることができるよう活動を心がけていきたいです。

医療保険委員会（石川常務）

「VPCS」について周知出来て良かった。「質問書」は、知らない方が数人見受けられたが、使用方法を伝えることが出来て良かった。

学術教育研修事業

薬局地域保健委員会（杉本副会長）

薬局地域保健委員会の存在があまり知られていないなと感じた。一般用医薬品に関する研修会については興味を示してくれる方もいたが、実際に要指導医薬品、第一類医薬品を置いている薬局はまだまだ少ないと感じた、来年からは「セルフメディケーション税制がスタートするので、もっと興味を持ってもらえるような、研修会の企画を行っていきたい。スポーツファーマシスト、ゲートキーパーもまだまだ浸透していないと感じたが、啓発は続けていきたいと思った。指針・業務手順書の更新についてはすべての薬局が作成済みであったが、更新となると下を向く薬局もあったため、節目、節目で啓発が必要であると感じた。

薬学教育委員会（園田常務）

実際に久留米三井地区で実習を受けて卒業した出席者の方は当然ながら事業内容をよく理解してくれたと思います。

実習内容の具体例は興味深く見てくれていましたので、今後は実習内容の紹介をしていくような形を作れば活動内容が会員に伝わりやすく受入希望の薬局が増えるかもしれないと感じました。

生涯学習委員会（杉岡理事）

develop seminarとCOMの周知ができた事が良かったと思う。

特にCOMの紹介を通して、現時点であまり薬剤師会活動に携わっていない人との繋がりができた事が良かった。

調査広報事業

広報編集委員会（今村常務）

全ての班で「一度でもホームページを見たことがある方?」と挙手していただいたが、約8割の方は閲覧経験がある方であった。

ただし、上手に活用ができていない方が多い印象だった。こんな時にはこんな風に使ってみてください、といった案内を定期的に会員向けに発信していくと良いのではと感じた。

総務委員会（白木副会長）

Aブロック内会員で、ソフトボールへ1名の入団が決定した。

部会

学校環境衛生部会（中井理事）

学校薬剤師は、現在空きがないため、やりたくてもすぐにはできない状態。例え、学校薬剤師に空きがあっても、学校までの距離が遠く、検査などの活動に時間がかかるなどの問題があるが、それでも今回の説明を聞いてやってみたいという方が出てきてくれれば幸いです。

短い時間ながらも、それぞれの委員会からの周知連絡が出来たこと、参加者の皆さんからのご意見やご要望等、様々な収穫もありました。

薬剤師会を活用していただくためにも、会員の皆様には開かれた薬剤師会である事。また、会員の皆さんが興味を持って積極的に参加していただけるよう、魅力ある委員会・薬剤師会である事。これからも、委員会活動を行う上で大変貴重な時間となりました。今後も委員会についてご説明する機会を作り、会員の皆さんと一緒に活動を行う薬剤師会を目指したいと思います。